

NAGOMU

Nagoya Gourmet-Shop Management Union

PRESS Vol.77

ナゴムプレス（会員情報誌）

2020年2月1日発行 発行：NAGOMU 事務局

www.nagomu.com

人間開発（ひとづくり）

商売繁盛（こころのあきない）

社会貢献（おやくだち）



NAGOMU 第288回経営セミナー

あほな奴ほど成功する

日時：2020年1月16日（木）

会場：名古屋能楽堂

演題：あほな奴ほど成功する

講演：株式会社奥志摩グループ

代表取締役会長 中村文也氏



家としても有名だったが、その成功の秘訣は車中で毎日唱えている『ありがとうございます』だと答えたことがある。毎日3000回唱えていたそうだ。その話を聞いて、すぐに真似をしたある経営者は、ホールインワンを4回も出し、もちろん経営も上向きだそうだ。

最後に、中村は実践してくれる100人の内の3人になって欲しいと前置きをして次の話をしてくれた。

「5秒で幸せになる方法をみなさんにぜひしてほしい。寝る前に『守護霊さま 今日一日お守りくださってありがとうございます』と唱え、守護霊様に感謝し

て眠ることをおすすめしています。今日聞いて今日やれる人は何人かいても、やり続けるのは100人に3人しかない」。この感謝の言葉を毎晩唱えるだけで、またこれも魂を磨くことのひとつになる。

「どうか、この3人になってもらつて、いい人生を送っていただきたいと思います」。信じる者は救われる。素直な心を持つ者ほど、まずはやってみようと思い実行する。タイトル通り「あほな奴ほど成功する」本当かどうかわからないことを、本当にするのは、あなた次第。みんな今年にはあほになろう。



レポート

1月22・23日の二日間、東京池袋サンシャインシティ文化会館にて開催された居酒屋JAPAN2020のオープニングセレモニーに稲垣理事長が参加してきました。

「居酒屋の未来を創造する、居酒屋による、居酒屋のための、居酒屋の展示会」のキャッチフレーズらしく、会場内をひと回りすればそれぞれのお店の課題が解決できるくらい充実ぶり、焼肉ビジネスフェアとの同時開催という事もありブースは250を超えてました。

2月4・5日には大阪南港ATCホールでも開催されました。興味のあるかたは是非来年、足を運んでみて下さい！



OWNERS

1月29日
がブリチキン。町田中町店
東京都町田市中町1-16-14
株式会社ブルームデザイン・イン・サービス

今後のスケジュール

第289回経営セミナー

(株)ワンダーイマジニア

代表取締役 今井千尋氏

日時：2月4日（火）

講演：13:30～15:00

懇親会：15:30～

会場：本丸ホール

第290回経営セミナー

(株)スリーウェルマネジメント

代表取締役 三井耕太郎氏

日時：3月11日（水）

講演：14:30～16:00

懇親会：16:30～

会場：JRRゲートタワーカンファレンス

第291回経営セミナー・総会

(株)イー・ワールド

代表取締役会長 長谷川研二氏

(株)スキルアップマネジメント

代表取締役 松原英人氏

日時：4月15日（水）

講演：13:00～14:30

総会：15:00～15:30

懇親会：16:00～

会場：浩養園

風が入ってくる、そんなボロ家で暮らしていた。友達と比べて辛い思いもしたようだ。その度に、生まれてこなかったら悩みもないし、悲しいこともない。生まれてこなかったら喜びも感じることはなけれど、当時はいつもそう考えていたと言う。しかし、中村は「僕のこの体は父ちゃんや母ちゃんが作ったかもしれないけど、この身体の中に入っていたんは自分なんや、俺が父ちゃんと母ちゃんを選んだんや」。

どこの夫婦の元に行こうかと決めるのは自分自身であり、生まれてくる前に神様と約束をしてくるという。

一 神様との約束

「神様、僕をあそこの中村家に生まれさせてください」と言うと、神様は「ええんか？お前あんところに生まれたら子供の時に苦労するで、めっちゃくちゃ苦労するけど、それでもええんか？」と聞かれ、「神様。子供の時に苦労するかもしれないけど、絶対幸せになつてみせます。どうか生まれさせてください」そう頼むと次のようなことを約束させる。

「このうちに生まれたなら、必ず人を幸せにしなさい。必ず楽しく生きなさい」。この約束は生まれる前に、わたしたちの誰もがしていることだそう。

「神様から言われるのは、人に親切にしなさい、楽しく生きなさいのたったこれだけなんです。これさえ守ればこの我々が亡くなるまでの間に、それだけで

十分神様は喜んでくれるんです」。

しかし、自分だけが楽しくてはいけない。年商100億の経営者になろうと、神様は褒めてはくれない。自分の一生が終わった時に、これでは「本当に、人に親切にしてきたのか？人を大切にしてきたのか？」と問いつめられるだろう。

「この世の中の地位が、社長や会長をやつていて、見た目は上かもしれませんが、しかし、あの世に行ったら、人に親切にできなかった人、楽しませてこなかった人は、下の下に行くんです。地位なんて関係ないんです。とにかく楽しく人に親切に生きた人があの世では上にあがつてくるんです。このことに気が付いたときに、なるほどな、おもしろいなと思っただんです」。

このことに気づいた中村が考えたのは、〃人はなんのために生まれてくるのだろう〃。そこで調べてみた中村はあることに気づいた。

■魂を磨くために生まれてきた

書物をたくさん読んでいくと、ある共通点に気づいた。2500年以上続く神道も、イエス・キリストのキリスト教も、仏教の教えも、それだけではない。松下電器産業（当時）創始者の松下幸之助氏、京セラ・第二電電（現KDDI）創業者の稲盛和夫氏の著書にも同じことが書いてある。

「魂を磨くために生まれてきたんだ」と。「じゃ、魂を磨くってなに？」を調べた人がいるんですね。そしたら、文也さん



魂を磨くとはね、頑張つて我慢して努力することや」。

この言葉を聞いたとき、中村は「アホちゃうか」と思ったそうだ。

「戦争の頃やつたら、それでいいかもしれん。あの時は、我慢して、頑張つて強く生きてきた。そんな時代やったんです。でも今そんな人は通じないんですよ。我慢なんかしたら、心が下の方に落ちるんです。頑張つたら、癌が張り付くんです」。中村は、講演の中で、「頑張るなよ、我慢しないでよ。努力しないでよ」と必ず伝えている。

「努力の努つて、女に又に力つて書くでしょ。女の又という字は、奴隷の奴じゃないですか。奴隷は女を無理やりつて意味なんです。女を無理やり力づくで、又、力を加える。なんか嫌だなと思つたんが、やつぱり、なんとなく字から見ても、いい意味ではないのかな？と勝手に一人思っている」と言う。

■神様は誰の中にもいる

中村が言うには、誰しにも神様がいて、

だと友人から聞いた中村は、寝る前に毎晩、60兆の全ての細胞に感謝をして寝入ることにした。すると病氣も減り、体も健康になった。

「我々はなんのために生れてきたのか。魂を磨くために生まれてきた。魂を磨くってなんなんだ？魂を磨くとは人に親切にして、楽しく生きることなんだ！他にも、許す」ということを学びにきたんだよ。怒らないムカつかない。イライラしない。悩まないこういうことも勉強してきたんだよ。自分を褒めることなんだよ。自分を信じることなんだよ。自分を喜ばせることなんだよ。そして感謝すること。こういうことをするために、我々は生まれてきてるんだよ」

■中村の天職

中村は紆余曲折の末、12個目の水商売の職に就いた時に、これぞ天職！と思つたそうだ。どんな店を、と考えている時にフラッと入ったのが『居酒屋山ちゃん（現世界の山ちゃん）』だった。山ちゃん（故山本会長）とは当時は知り合いでも何でもなく、客と店主という関係。ビールくださいと言えば、「はい、ビール」ときて、おでんくださいといえば「はい、おでん」と出てくる。

「全然接客悪くはないんです。でも水商売やつとつたからびっくりしたんです。え？この程度のお店でいいの？って。よし、これやつたら居酒屋やろう。名古屋で接客が一番の店を作ったら絶対流行

その神様は自分に合うことを、わざとさせてくれると言う。合うものはいい気分、合わないものには、〃モヤモヤ〃とさせるそうだ。

世の中、知らないことが多いのだから、頭で考えずに、心で感じる事が一番。ピッタリなことはワクワクさせてくれる。このワクワクに忠実に従つてきた中村の奥志摩はこの8年で業績が、5億5千万から15億に一気に伸びていった。実は、このワクワクしたものを選び取つていけ、という法則を知つたのが8年前。ワクワクの気持ちと業績は偶然が重なつたわけではない。

「なにをやったんですか？とよく言われるんです」。「文也さん、最近エライ勢いで業績伸びてますね」と。「いや、俺、なんもしてない。ワクワクすることだけやつとるだけなんや」。本当にそれだけでうまくいったんです。みなさんすぐ頭の中で、そんなわけないやん。つてそんなはずないやろつて、思うかもしれないけれど、そんなはずがあるんです。本当に、自分の神様の言う通りにワクワクしたことばかりすると、うまく行くようになるんです。恋愛でもなんでも同じです」。

■神様との約束

中村の講演を聞いても、『俺にはどうも合わない』と感じたら、それがあなたのぴったりなんだ、自分が感じるように、話を聞いたときの、直感、を信じるこ

る！」

意気込んで開店したのはいいが、料理を知らない中村が出したものは、あじの塩焼きは開きで出して、生ハムサラダはロースハムを切つたものだった。いつも0時過ぎに来店する板前さんから、魚の見分け方や、美味しいマグロのことなども学んだ。その板前さんのほとんどが、その後10年以内に独立したが、どの店も残っていない。しかし奥志摩は37年続いできた。今の奥志摩に繋がったものは中村の「途な思ひだった」。

「商売つてどんだけ人に喜んでもらえるか、どうやつたら喜んでもらえるか、こうやつたら喜ぶかな、ああやつたら喜ぶかな、飲食店だけやのうて、なんでもそうやと思うんです。絶対にうちにきてもらつたお客さんを3倍喜ばせるんだ！というようなことを真剣に思つて、顔も覚えていきました」。こう考えていた時



は大切だと話す。

「わたしあの人と初めて会ったんやけど、なんかしらんけどあの人好きやねん」そんな気持ちが大事だ。

この合う、合わないを自分の中にいる神様が、自分のために判断してくれていること。判断は頭でするものではないと何でも教えてくれた。こうして、ワクワクすることのみを選び取り、人に親切にして楽しく生きること魂は磨かれる。これが生きていく上でのお題目となるのだ。

魂を磨くために行うことで、次に加えないのは、怒らない」ということ。

私達の多くは、人の評価を全く気にしない人は皆無だろう。しかし普通は3割くらいの人に嫌われても仕方ないと中村は言う。「頭にきたらダメなんです。頭に来ると、心が下向いて、不幸の方に下がっていくんです。頭にこない、ムカつかない練習をせなあかんのです。そしてこうやって思うんです。自分も神様、みなさんも神様。嫌なことを言う人も神の子、神様なんです」。

中村は、ムカつくような態度を取る相手には「あれ？神様、今日は機嫌が悪いですね。早く治るといいですね」と心で呟くそうだ。

「ムカつくことを言う人でも、相手の土俵に乗らないことです」。

コツとしては、自分が常に一番気持ちのいいように、何が起ころうが、物事を良

25歳。

成功者の共通点は、まず1つ目が信じること。そして感謝をすること。できてもないことをイメージできるか否かも重要。本田宗一郎は、自転車にエンジン載せて早く走る姿をいつも想像してワクワクしていた。

ミスター長島は、ドラフトで松井秀喜を引き当てるために、前日松井を引き当て、喜びのポーズをする練習を何度もした。

なりたい姿、自分の夢、目標を全てイメージすれば叶うという法則がある。ここにも自分を信じることを、できるとイメージすること、感謝すること。この3つがあれば幸せになれると実感した。

■ありがとうという言葉

「うれしいなあ、楽しいなあ、幸せだなあと言っている上を向いてくる。けれども、言葉は本音が大事なんです」。つまり本心からでない、その嘘は見抜かれるというのだ。しかし例外の言葉『ありがとう』がある。腹の中で、真反対を考えていても貯金はされるし、時にはポーンポイントまでもらえるマルチな言葉だ。

あんまり下向きな言葉を使っていると、悪い神様がきて、その悪いことを実現させてしまう。でもこの『ありがとう』の言葉を使えば、気持ちもどんどん上向きになり、悪い神様は消えていく。

竹田製菓(株)の創業者竹田和平氏は投資